

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol.
101
2026
summer



旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊
ブンカ
BUNKA VOL.101 2026.6.15



ハーモニーホールふくい

発行 公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎077-638-8288 <https://www.hhl.jp>



公益財団法人
福井県文化振興事業団





いわず・おひで●1963年、愛知県生まれ。中央大学工学部卒業後、1985年、興和新薬(株)(現 興和(株))に入社。化学・海外部門に所属し、ドイツのデュッセルドルフ駐在、米州総支配人(ニューヨーク駐在)、産業関連事業部化学第二部長等を経て、2021年より現職。芸術鑑賞や読書を通し多様な文化に親しんでいる

音楽やスポーツを通して子どもたちに体験の機会を
ザルツブルクでの体験もあり、生の音楽に親しむ環境があれば、自ら演奏してみたいと思う子どもが増えるのではないかと考えていました。そこで当社では、ハーモニーホールふくいで開催する公演に協賛し、一部のチケットを県内の小中学生に提供させていただいています。
同様に子どもたちの未来につなげるといふ観点から、「福井県知事杯学童野球選手権大会バンテリントーナ



興和江守が特別協賛している「福井県知事杯学童野球選手権大会バンテリントーナメント」表彰式の様子

TOP INTERVIEW アートと私

興和江守株式会社
代表取締役社長
岩佐大秀氏

土地や街に息づく歴史や文化を体感
福井に来て約4年半。県内各地を歩いて感じたのは「平泉寺白山神社」や「大本山永平寺」「吉崎御坊」など、仏教が地域に大きな影響を与えてきたことです。個人的には、美しい若や坊院などの遺跡が広がる「平泉寺白山神社」が素晴らしいと思っています。文化施設では「福井県年輪博物館」

子どもや地域の未来につながる取り組みを応援。

がー押しです。地球の歴史を物語る地層は、海外の知識欲旺盛な人々にも非常に魅力的なものではないでしょうか。東京や欧米で暮らしていた時も、絵画や音楽などを身近に感じてきました。私は学生の頃からクラシック音楽が好きで、ドイツ駐在時に訪れたオーストリアのザルツブルクの光景が強く印象に残っています。街の辻々でヴァイオリンなどが演奏され、人が集い楽しそうに聴いている。生活の中に音楽が溶け込んでいる様子に感銘を受け、日本にもこのような場所があるだろうかと思いつきながら耳を傾けていました。
メント」への特別協賛や、当社野球部員を野球教室の指導者として派遣するなどの協力も行っています。
当社は本年、創業120周年を迎えました。この節目にあたり、「関わる人すべてを幸せにする、顧客第一主義。」をコンセプトに掲げ、お取引先、株主、社員、地域社会という4つのステークホルダーを四つ葉のクローバーで表現したビジョン・ピジュアルを策定しました。文化面においても、地域社会にもっと貢献できることはないかと考えることがありません。例えば和紙や打刃物などの伝統工芸は、従来の技を継承しながら現代に合わせた革新的な取り組みも求められており、そうした流れを応援できればと思っています。

CONTENTS

- 1 笑門来福 — 今号の表紙 —
- 2 TOP INTERVIEW アートと私 岩佐大秀氏 (興和江守株式会社 代表取締役社長)
- 3 Interview 芸術と科学の垣根を払い 未来を「響創」する音楽家 ヴァイオリニスト 近藤 薫氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 2026年7~9月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 10 越のルビーアーティスト 泉谷更沙氏 (ヴァイオリニスト)
- 11 ふくい文化創造センター News.05 インクルーシブ事業『だれでもピアノ®レッスンカフェ』
- 13 アートシーン (キーパーソン) 小さな記録研究所 代表 丸山達也さん
〈アートの息吹〉株式会社 廣部硬器 (福井市) / 〈アートプロジェクト インフォメーション〉
- 15 寄稿 スーパースターの直筆サイン 年縞研究の礎石・リビー博士 福井県年輪博物館学芸員 長屋憲慶氏
- 16 古きを訪ねて 篠座神社 里神楽 (大野市)
- 17 Essay 二十四年を経て、ふたたび始まりの場所へ —福井県立大学地域政策学部始動— 文 朝倉由希氏
- 18 Information

笑門来福 — 今号の表紙 —

順造門(県立若狭高等学校正門)

小浜市千種1-6-13

小浜市の若狭高校にある「順造門(じゅんぞうもん)」は、小浜藩の藩校「順造館」の正門です。戦後は県若狭事務所(小浜市一番町)の正門として用いられ、事務所移転に伴い小浜市立雲浜小学校へ、そして昭和55(1980)年に現在の場所に移築されました。切妻造り本瓦葺きの薬医門で、両翼には海鼠(なまこ)塀、大棟両端の鬼瓦には酒井家の家紋が刻まれています。

順造館は安永3(1774)年に全国でもいち早く開校。小浜藩は石高11万でありながら5つの藩校を持ち、杉田玄白や伴 信友、梅田雲浜など多彩な人材を輩出しました。好学の精神に満ちたこの地では、歴史を背景に先進的な食文化も育まれました。現在テレビドラマで話題の「宇宙サバ缶」誕生は、偶然ではない気がしてきます。



順造門が建てられたのは天保5(1834)年。藩校・順造館の唯一の遺構として、小浜市の指定文化財にもなっています

※歴史や風土、人々の想いが込められた県内の門を、シリーズで紹介します

ヴァイオリニスト

近藤 薫

Kaoru Kondo

芸術と科学の垣根を払い
未来を「響創」する音楽家



こんどう・かおる ●東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程修了。国内の様々なオーケストラにゲスト・コンサートマスターとして出演。2015年から東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。2025年8月より東京大学先端科学技術研究センター教授

東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを務めるヴァイオリニストの近藤薫さんは、2021年から東京大学先端科学技術研究センター（以下、先端研）において先端アートデザイン分野の研究に従事しています。社会における芸術のあり方について、最先端の研究者たちと共に考え、行動する近藤さんの見ている世界を探ります。

「アートを通して新たな価値の創造に挑む」

「先端研でアンケートを取ったら、ほぼすべての研究室から『芸術分野と共に研究したい』という要望があったそうです。コロナ禍を経て、科学技術だけではウエルビーイングやSDGsの理念は達成できないという課題が浮き彫りになってきており、感性や心の問題を扱う芸術の重要性が再認識されているのだと思います。大学とは研究・人材育成・地域連携に加え、新たな価値観や文化を社会に投げかける場所であるべきで、『文化響創装置』としての大学というアイデアを掲げて研究を進めています」

「社会インフラとしての芸術のための高野山会議」

AIが不可欠な時代になっていく今、私たちが考えなければならぬのはAIとは違う人間としての部分は何か、ということだと語る近藤さん。

「人間らしい心や、思いやり

や利他の心を失わないために重要なのが芸術です。芸術とは娯楽や嗜好品ではなく、制度化された社会の中で人が人らしくあるための社会インフラだと位置付け、それを機能させるために2つのプロジェクトをスタートさせています。ひとつは2021年に先端アートデザイン分野発足と同時に始めた高野山会議です。これは、知性と感性を同等に扱う場ですが、5年間活動していく中で感じたのは、言語化できないものを伝えていくのはとても難しいということでした。そこで、高野山会議の精神を受け継いでいく次世代を育成するために、青少年高野山会議をつくりました。ここでは、何かを教えたり考え方を矯正したりするのはなく、自ら感じて考える人材を育てていくことを目的にしています。さらに、芸術を社会インフラにするためには、芸術家だけ、研究者だけでなく、みんながやる必要があるのだということで、産業界にも参加してもらっています。JERR

A、S、M、B、Cグループ、あずさ監査法人などが中心となり一般社団法人を設立し、高野山会議の精神を守るべく、特定の企業に偏らない『産芸学官連携』というスタイルを構築しています」

「現代社会における『時間』を取り戻すために」

AIの登場以来、社会が加速度的に変化していく時代にあっという間に人間の時間感覚も大きく変化しています。音楽家としての近藤さんは、そのことにある種の危機感を抱いているようです。

「人間の脳って膨大な情報量に接するとシンプルな方を選んじゃうんだそうです。だから今、音楽もイントロがなかったり、極端に短いものが好まれるようになってきている。この間家の近所で、3歳ぐらいの男の子が仁王立ちですつと下を向いているのを見たんです。何やってんのかなと思ったら、ダンゴムシが足の間を通るのを待っていて。子どもはとても楽しそうで、横

でお母さんが黙ってちゃんと待っているのがすごく偉いと思いました。こういう時間感覚はとても大切だし、それが許される時代の方がいいですよ」

9月に熊川宿若狭芸術祭で開催される「おむすびコンサート」は、近藤さんの音楽と社会に対する精神（スピリット）が共有できる貴重な機会になるに違いないと語ります。

構成・文／室田尚子
(音楽評論家)

9/13(日)

熊川宿若狭芸術祭
近藤 薫と仲間たちによる
おむすびコンサート

14:30開場 15:00開演 / バレオ若狭
全席自由 ¥1,000 (小〜大学生:半額)
出演 / 監修・ヴァイオリン:近藤 薫、ヴァイオリン:泉谷更紗
ヴィオラ:加藤大輔、チェロ:孫工恵明
コントラバス:遠藤純一郎、ピアノ:仲谷理沙
※詳細はHHF WEBサイトに6月下旬発表予定 ※詳細はP.5へ

高野山会議2025 コンサート
写真提供:東京大学先端科学技術研究センター



熊川宿若狭芸術祭
近藤 薫と仲間たちによる
おむすびコンサート

9.13日

14:30開場 15:00開演/パレア若狭
全席自由 ¥1,000(小~大学生:半額)
出演/監修・ヴァイオリン:近藤 薫、ヴァイオリン:泉谷更紗
ヴィオラ:加藤大輔、チェロ:孫工恵嗣
コントラバス:遠藤終一郎、ピアノ:仲谷理沙
※詳細はHHF WEBサイトに6月下旬発表予定

(主催:熊川宿若狭芸術祭実行委員会(福井県、(公財)福井県文化振興事業団、若狭可、NPO法人若狭美&Bネット、若狭熊川宿まちづくり特別委員会))

チケット発売日(電話・窓口・インターネット) 一般 6/20(土)



上段左から、ヴァイオリン: 泉谷更紗、近藤 薫、コントラバス: 遠藤終一郎
下段左から、ピアノ: 仲谷理沙、チェロ: 孫工恵嗣、ヴィオラ: 加藤大輔

歴史と伝統の熊川宿でみんなを「むすぶ」コンサート
熊川宿は、かつて若狭と京都を結んだ「鯖街道」の要所として栄えた宿場町。その歴史的価値と美しい景観、そして地域の人々によるまちづくり活動が高く評価され、1996年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されています。この熊川宿で2023年から開かれていくのが、熊川宿若狭芸術祭です。コンセプトは「臨場」と「共生」で、「臨場」とは表現の場に立ち会い、共に体験することを、そして「共生」はアーティストや地域の人々をはじめ多様な人々が互いに影響を与え合いながら調和の中で共に生きることを意味しています。7月から11月までの芸術祭期間中、国籍・性別・障がいの有無を問わず、またジャンルもさまざまな芸術家たちが熊川宿に集い、熊川宿の自然や文化、人々のエネルギーに触れる中で生み出される「生きた芸術」を展開しています。

今年第4回を迎える熊川宿若狭芸術祭。そのプログラムのひとつとして開催されるのが、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターの近藤薫と仲間たちによる「おむすびコンサート」です。この名前は、若狭と京都を「むすぶ」、地域と芸術家を「むすぶ」、音楽と芸術を「むすぶ」というコンセプトから生まれたもの。東京フィルからはヴィオラの加藤大輔、元団員でコントラバスの遠藤終一郎、福井ゆかりの「越のルビー」アーティストらを中心とする弦楽アンサンブルが出演します。9月13日のパレア若狭音楽ホールでのコンサートは、弦楽四重奏にピアノを加えた編成を基本にした室内楽公演。400席の客席数は親密な空間を演出し、豊かな響きに包まれる贅沢な時間を味わうことができます。

協賛: NICCA
秋の子ども音楽会
「ステージできく」コンサート(仮題)
10.4日
2回公演 ①10:30開場 11:00開演 ②13:30開場 14:00開演
大ホールステージ
ステージ席(全席自由) ¥2,000(0歳~高校生:半額)
出演/プロデューサー:フルート:杉原夏海、打楽器デュオ:カメハ(永野雅晴・永野仁美)
(制作補助:一般公募のディレクターズ)
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 7/14(火) 友の会: 7/15(水) 一般 7/18(土)

フルートと打楽器
異色のコラボが実現
14回目を迎える「秋の子ども音楽会」は、子どもたちに大人気の打楽器デュオが登場。ステージで間近に打楽器の音や振動を体験できるまたとない機会です。プロデューサーはフルート奏者の杉原夏海。これまでにないワクワクする音の世界をお届けします。

過去公演の様子

おと・ラボ

出演/構成・フルート:大久保彩子、打楽器:オリヴィエ・モーレル

各ラボ有料 チケット発売中

8.18日・19日

ベベ・ラボ ~小さな耳のための音の世界~
会場/ハルモニーホールふくい 大ホールエリア
定員/1回につき20組(各日2回開演)
参加料/1回あたり ¥2,000(乳幼児のみ、付き添いの保護者無料)

お申込みはこちらから ▶



8.20日・21日・23日

キッズ・ラボ ~音であそび、音でつながる
未来への創作ワークショップ~
会場/ハルモニーホールふくい 大ホールエリア(8/20、8/21)
福井市にぎわい交流施設「ハビリンホール」(8/23)
定員/20名(全3日間参加)
参加料/¥3,000(小学校中・高学年対象:全3日間分)
※8/23(日)「ファイナル・コンサート」への出演あり

お申込みはこちらから ▶



8.22日

現代音楽ラボ&コンサート ~未知の音との出会いかた~
会場/福井市にぎわい交流施設「ハビリンホール」 18:00開演予定
料金/全席指定 ¥3,000(小~大学生:半額)

8.23日

ファイナル・コンサート ~音でひろがる、世界とつながる~
会場/福井市にぎわい交流施設「ハビリンホール」 15:00開演予定
料金/全席自由 ¥500

福井から世界へ発信!体験型創作プログラム

2023年に開催され大好評を博した「おと・ラボ」が帰ってきました!福井県出身でフランスを拠点に活躍する大久保彩子が構成を手がける「おと・ラボ」は、「音を通して子どもの創造性を育てる」というコンセプトに基づき、「ベベ・ラボ」「キッズ・ラボ」「現代音楽ラボ」の3つのラボ(実験室)から成ります。もともと大久保がフランスで行ってきたラボ活動をまとめ、フェスティバルのスタイルにしたもので、今回は6日間の開催です。

乳幼児向けの「ベベ・ラボ」は、

心理学者・舞台美術家・作曲家・音響家・照明家が集まり、赤ちゃんの「聴く力」を引き出すことに特化したプログラム。不思議な音たちが生まれる空間で親子で音の魅力に触れ、想像力を育むことができます。

「現代音楽ラボ&コンサート」は、難しいと思われるがちな現代音楽の音の仕組みや面白さを、お話を交えながら紹介していきます。どなたでも気軽に現代音楽の魅力にひたることができます。「キッズ・ラボ」は、小学校中

集めて作品を作る3日間のワークショップ。子どもたちが協力してつくった作品は、最終日にハビリンホールで開催されるファイナル・コンサートで演奏されます。プロの演奏家による現代音楽作品と子どもたちの作品が一緒に演奏される機会は大変貴重なもの。また、この音源は国際アーカイブ「サウンドバンク」に登録され、世界中の人々の創作に活かされます。福井から世界に発信する新しい「音の楽しみ方」をぜひ体験してみてください。

年々高学年を対象に、身近な音を

	8/18日	8/19日	8/20日	8/21日	8/22日	8/23日
9:30		ベベ・ラボ				
10:00						
10:30						キッズ・ラボ
11:00		ベベ・ラボ	キッズ・ラボ	キッズ・ラボ		キッズ・ラボ
11:30						
12:00						休憩
12:30						
13:00			休憩	休憩		
13:30						キッズ・ラボ
14:00						
14:30						
15:00	ベベ・ラボ		キッズ・ラボ	キッズ・ラボ		ファイナル・コンサート
15:30						
16:00						
16:30	ベベ・ラボ					
17:00						
17:30						
18:00						
18:30					現代音楽ラボ	
19:00						
19:30						
20:00						



打楽器:オリヴィエ・モーレル

構成・フルート:大久保彩子

ベベ・ラボ(過去公演の様子)

ファイナル・コンサート(過去公演の様子)

華麗なるイタリアン・バロック
エウローパ・ガランテ
華麗なるイタリアン・バロックの世界

11.8 日

13:15開場 14:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥5,000
(小〜大学生:半額)
出演 / 指揮・ヴァイオリン:ファビオ・ピオンディ
古楽器アンサンブル:エウローパ・ガランテ
曲目 / コレリ:合奏協奏曲 第4番
ヴィヴァルディ:「四季」全曲 ほか
(共催: FBC)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 7/14(火) 友の会: 7/15(水)
一般 7/18(土)

その真髄をここ福井で!
イタリア語で「優雅なるヨーロッパ」を意味するエウローパ・ガランテは、ヴィルトゥオーゾ・ヴァイオリニストとして活躍するファビオ・ピオンディが1990年に結成した古楽器アンサンブル。イタリアの太陽のような輝きと明るさにあふれた響きが特徴で、現代の古楽界を牽引する存在です。今回の福井公演は、ハモニーホール親密な空間で彼らの演奏を聴きたいへん贅沢なコンサート。おなじみのヴィヴァルディ「四季」全曲をはじめとする華麗なイタリアン・バロックの世界にみなさまを誘います。



エウローパ・ガランテ

協賛: 福井新聞社 FBC 福井テレビ

越のルビープロジェクト 嶋川菜友子 クラリネット・リサイタル
クラリネットを愛したドイツの音楽家たち

11.28 日

13:15開場 14:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000
(小〜大学生:半額)
出演 / クラリネット:嶋川菜友子
ピアノ:谷口佳奈香
曲目 / ウェーバー:協奏曲の二重奏曲
ブラームス:クラリネット・ソナタ ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 8/25(火) 友の会: 8/26(水)
一般 8/29(土)



クラリネット: 嶋川菜友子 ピアノ: 谷口佳奈香

ドイツで培った実力でクラリネットの魅力伝える
鯖江市出身・在住の嶋川菜友子はドイツ・カールスルーエで研鑽を積んだクラリネット奏者。越のルビーアーティストとして企画した本公演は、そんな彼女が培ってきた豊かな表現力と技術力で、クラリネットという楽器の魅力を伝えるリサイタルです。ブラームス、ウェーバーにドイツの現代作曲家ヴィトマンの作品を加えたプログラムにも個性が光ります。

主催: 福井新聞社

若い芽コンサート2026

8.8 日 チケット発売中

18:15開場 19:00開演 / 小ホール
全席自由・車いす席 ¥2,000
(小〜大学生:500円)
出演 / ピアノ:上野山幹空、奥東愛未
ヴァイオリン:土田和奏
フェスティバル・カルテット
(ヴァイオリン:松谷由美、西川茉莉奈、
ヴィオラ:笠川 恵、チェロ:荒井 結)



上野山幹空 奥東愛未 土田和奏

協賛: 福井新聞社 FBC 福井テレビ

越のルビープロジェクト 泉谷更紗 ヴァイオリン・リサイタル

7.17 日 チケット発売中

18:15開場 19:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000(小〜大学生:半額)
出演 / ヴァイオリン:泉谷更紗、ピアノ:鈴木重子
曲目 / モーツァルト:ヴァイオリンソナタK.301
サン=サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28
ラヴェル:ツィガーヌ ほか



泉谷更紗 鈴木重子

越のルビープロジェクトSpecial
お話と歌でたどる愛の悲劇—オペラハイライト『蝶々夫人』

10.18 日

13:15開場 14:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,500(小〜大学生:¥1,500)
出演 / 企画構成・お話し:田口道子
ソプラノ:吉田珠代、メゾ・ソプラノ:林 眞咲
テノール:澤原行正、バリトン:町 英和、ピアノ:古藤田みゆき

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 7/14(火) 友の会: 7/15(水)
一般 7/18(土)



企画構成・お話し: 田口道子 ソプラノ: 吉田珠代 メゾ・ソプラノ: 林 眞咲



テノール: 澤原行正 バリトン: 町 英和 ピアノ: 古藤田みゆき

日本を舞台にした名作オペラを90分のハイライトで味わう
福井県出身で、名門ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団との共演経験もあるソプラノ歌手・吉田珠代。彼女が主役を演じるオペラ『蝶々夫人』を、休憩なし・90分のコンサート形式によるハイライト版でお届けします。
「蝶々夫人」は、イタリアの巨匠ブッチーニが1904年に発表した作品。明治時代の長崎が舞台で、没落した武士の娘・蝶々さんがアメリカ海軍士官のピンカートンと結婚するところから物語は始まります。ピンカートンを心から愛する蝶々さんですが、ピンカートンの方は彼女を現地妻以上には考えていません。任務が終わってアメリカに帰って行ったピンカートンを3年もの間ずっと待ち続けた蝶々さんの前に現れたのは、正式なアメリカ人の妻でした。ピンカートンとの間にできた子どもを渡すように求められた蝶々さんは、ついに自ら命を絶つてしまいます。
ブッチーニは「さくらさくら」越後獅子などの民謡や日本のメロディを西洋音楽の手法にうまく取り入れ、他には流麗で美しい音楽を生み出しました。劇中で蝶々さんが歌う「ア」ある晴れた日に」をはじめ、一度聴いたら忘れられないメロディが満載です。今回はこの名作を、本場イタリアのミラノ・スカラ座で経験を積み国際的に活躍する田口道子の演出とお話し、そして日本を代表する歌手たちの歌声でお楽しみいただきます。また田口による音楽マスタークラス(定員に達したため受講申込は終了)の聴講や、小・中学生への公開リハーサルなど、多くのお客様にこの名作の世界に触れていただける機会も設けました。ハモニーホールふくい小ホールでオペラを体験できるまたとないチャンス。秋の日曜日、どうぞご家族そろってオペラの世界に足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

協賛: 福井新聞社

Voctave ヴォクターヴ
夢の国のヴォイス・オーケストラ

7.11 日 チケット発売中

14:15開場 15:00開演 / 大ホール
全席指定・車いす席 ¥6,000(小〜大学生:半額) 特別協賛会員 2割引
出演 / ヴォーカルアンサンブル:ヴォクターヴ
曲目 / ディズニーメドレー、映画・ミュージカルナンバー ほか
5歳〜18歳以下の先着230名様無料ご招待!
詳しくはWEBサイトをチェック



ヴォクターヴ

協賛: 公益財団法人 げんてんふれあい福井財団

ハーモニーぴくにつく
~50分間 世界一周!~

7.5 日 チケット発売中

2回公演 ①9:30開場 10:00開演 ②11:30開場 12:00開演 / 大ホール
全席自由(1階席)・車いす席(30席、エリア指定) ¥1,000(0歳〜高校生:半額)
障がい者手帳等をお持ちの方 ¥800(0歳〜高校生:半額)
出演 / ピアノ:ナビゲーター:高橋かほる、ソプラノ:新海華子
ヴァイオリン・ヴィオラ:山口梨恵、ホルン:長谷川陽一、オルガン:長谷川佳子
曲目 / エルガー:威風堂々、ホルスト:組曲「惑星」から「木星」 ほか



高橋かほる

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2026.7.8.9]



いづみや・さらさ ●福井市出身。京都堀川音楽高等学校、京都市立芸術大学音楽学部卒業。相愛大学音楽専攻科修了。2011年岐阜国際音楽コンクール弦楽部門 大学一般の部第1位。2013年に大阪でソロリサイタルを開催するなど関西を中心に活動する。2019年関西フィルハーモニー管弦楽団入団(第1ヴァイオリン)。現在は敦賀市在住

いろいろな経験をしてきた
私“の演奏を
愛する福井の人に聞いてほしい。

福井にいた3歳の時、習い事
で始めたヴァイオリン。この道
に進むきっかけは中学時代、音
楽の先生に促されて学校行事で
演奏したことでした。「演奏後、
先生から音楽高校はどうだとい
う話になり、慌てて受験勉強し

ました。」
高校では目標を持って挑んで
きた仲間たちに圧倒されながら
も、音大への進学を決意します。
「習わせた張本人の父も「大丈夫
か?」って。でも私はヴァイオ
リンが大好きだったので」と、
屈託のない笑顔を見せます。
大学ではさらに未熟さを痛
感。「先生からは基礎の鳴らし
方から徹底的に、愛情を持って
教わりました。私も上手くなり
たい一心で猛練習しました。」
子どもの頃は映画音楽に憧れ
て、オーケストラに入りたかった
という泉谷さん。「でもこれだ
けやってきても「まだ無理」と
判断し、卒業後は専攻科で技を
磨きながら、講師や客演などさ
まざまな仕事をこなしました。
そして27歳で転職が訪れま
す。本腰を入れてオーケストラ
入団を考えた時、同時に
3つの募集がありました。その
中で、これと決めたのが「関フィ
ル」です。オーディションは「受
からなくてもいい。今の自分を

見ている」という気持ちで全てを出
し切ることができ、40倍の難関
を突破。「導いてくれた先生方
や経験の機会をくれた仲間たち
に感謝し、回り道も悪くないな
と思いました」と振り返ります。
7月のリサイタルは、祖父母
や幼い時からの友人、そして3
月に入籍したばかりの優しい夫
も見守ります。「いつものオー
ケストラとは違う2人のステイ
ジ。磨いてきたテクニクをど
う組み込もうか、今からワクワ
クです。ふるさとの皆さまに、
愛と感謝を込めて演奏します」
と締めくくりました。



2026年4月29日(水)「関西フィルハーモニー管弦楽団 第363回定期演奏会」
写真提供: 関西フィルハーモニー管弦楽団



2003年12月23日(火)「福井ジュニアフィルハーモニック五周年公演」/ソリストの戸田弥生さん(左から2人目)とハーモニーホールふくいロビーにて

福井ゆかりの音楽家 越のルビーアーティスト

泉谷更沙(ヴァイオリニスト)

- 今後の活動
- 8月9日(日): ムジカ・カトル・セ・コンマ・オ・チヨ 南港サンセットホール(大阪府大阪市)
 - 10月18日(日): マグノリア サロンコンサート 逸翁美術館「マグノリアホール」(大阪府池田市)

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんでんふれあい福井財団にご支援をいただいております。



公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。
<https://www.hfh.jp/artistbank/>

9月

5 ピアノ発表会
(土)
●小ホール ●13:00開演
●無料(関係者のみ)
◎加藤智美ピアノ教室
☎090-8061-0264

6 ティンカーベル
30周年記念コンサート
福井公演
(日)
●小ホール ●13:30開演
●全席自由:1,000円
小学生以下:500円
◎(一社)日本ミュージックペルトンチャイム協会
☎090-5497-1132

12 令和8年 第59回
都山流 尺八演奏会
(土)
●小ホール ●13:00開演
●無料
◎岩崎 〆090-7082-0645
〆syaku16@gmail.com

13 伊藤ピアノ教室
発表会 2026
(日)
●小ホール ●12:30開演
●無料(関係者のみ)
◎伊藤ピアノ教室
☎090-2098-1448

20 2026 MUSIC FESTIVAL
いとうかな音楽教室 発表会
(日)
●小ホール ●10:30開演
●無料(関係者のみ)
◎いとうかな音楽教室
☎090-9449-6441

21 北陸中学校・高等学校
吹奏楽部
第23回 定期演奏会
(月・祝)
●大ホール ●14:00開演
●一般:500円 小学生以下無料
◎明石 〆in-akasi@hokuriku.ed.jp

第55回 琴と尺八
●小ホール ●13:00開演
●無料
◎林 〆090-3154-0821

22 北陸中学校・高等学校
吹奏楽部
第23回 定期演奏会
(火・祝)
●大ホール ●14:00開演
●一般:500円 小学生以下無料
◎明石 〆in-akasi@hokuriku.ed.jp

23 鯖江市中央中学校
吹奏楽部
第33回定期演奏会
(水・祝)
●大ホール ●16:00開演
●無料
◎鯖江市中央中学校 佐々木・倉内
☎0778-51-1161

スマイルコンサート
●小ホール ●10:00開演(予定)
●無料
◎秋田道堂楽器 福井営業所
☎0776-52-0711

11 ミュージックコンサート
(火・祝)
●小ホール ●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎山口佳代ピアノ教室
☎0776-33-0116

12 ほよほや 楽しもっさ
みんなのコンサート
(水)
●小ホール ●18:00開演
●無料(下記アドレスに申し込み)
◎北陸中学校・高校 合唱同好会 山本
〆se-yamamoto@hokuriku.ed.jp

16 三楽来結成10周年
アニバーサリーコンサート
～私たちはここで出会った!
真夏の感謝祭!～
(日)
●大ホール ●17:00開演
●シングル:2,500円 ペア:4,000円
◎高橋 〆kaochan.piano@gmail.com

18～23 おと・ラボ
(火) (日)
※詳細はP.6をご覧ください
◎(公財)福井県文化振興事業団 事業部
☎0776-38-8289

22 令和8年度 第77回
福井県音楽コンクール 予選会
(土)
(弦楽部門・管楽部門・
声楽部門・マリン部門)
●大・小ホール ●10:00開始
●無料
◎吉川 〆070-5060-0592

23 令和8年度 第77回
福井県音楽コンクール 予選会
(ピアノ部門)
(日)
●大・小ホール ●10:00開始
●無料
◎吉川 〆070-5060-0592

27 ZERO8と歌う
未来へつなぐハーモニー
(木)
●大ホール ●19:00開演
●一般:3,500円 学生:1,500円
◎三輪 〆090-4321-6990
〆gaudia0811@gmail.com

29 キンポー・イシイ指揮
NHK交響楽団演奏会 福井公演
(土)
ヴァイオリン:クロエ・チュア
●大ホール ●16:30開演
●S席:7,000円 A席:6,000円
●B席:5,000円 C席:3,500円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

30 福井工業大学附属
福井中学高校吹奏楽部
第20回定期演奏会
(日)
●大ホール ●16:00開演
●無料
◎上高 〆fshwind@gmail.com

第10回 平和の風
福井合唱団 コンサート
●小ホール ●14:00開演
●一般:2,000円
小・高校生・障がいのある方:1,000円
◎社 〆0776-26-1292

※□は、当ホールの自主公演でP.3～P.8、P.18に見どころなどが紹介されています。(7/17は、小学生から大学生まで半額)
※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(6/3時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします

7月

5 ハーモニーびくにっく
～50分間 世界一周!～
(日)
●大ホール ●10:00開演/②12:00開演
●全席自由(1階席)
障がい者手帳等をお持ちの方:800円
(いずれも歳～高校生:半額)
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

11 Voctave ヴォクターヴ
夢の国のヴォイス・オーケストラ
(土)
●大ホール ●15:00開演
●全席指定・車いす席:6,000円
(5歳～大学生:半額)
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

「子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」対象公演
5歳～18歳以下無料ご招待
(先着順/要申込)
※申込方法はWEBサイトをご覧ください

12 コーラスグループうたうた
25周年記念演奏会(その2)
(日)
●小ホール ●14:00開演
●一般:1,000円 大学生まで:500円
未就学児:無料
◎小川 〆090-2122-6047

14 第37回 ハーモニー プンカさろん
～イタリア・バロック芸術の世界～
(火)
●小ホール ●13:30開演
●全席自由:2,500円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

17 越のルビープロジェクト
泉谷更沙
ヴァイオリン・リサイタル
(全)
●小ホール ●19:00開演
●全席指定・車いす席:3,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

18 2026 カワイ ミュージックフェスティバル
(土)
●小ホール ●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎秋河楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

19 FMOA第1回演奏会
～福井に響く「運命」～
(日)
●大ホール ●13:30開演
●全席自由:500円(大学生以下無料)
◎西田 〆fmoa2025@kuui@gmail.com

2026 カワイ ミュージックフェスティバル
●小ホール ●10:10開演
●無料(関係者のみ)
◎秋河楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

20 2026 カワイ
ミュージックフェスティバル
(月・祝)
●小ホール ●9:45開演
●無料(関係者のみ)
◎秋河楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

24 第58回
福井県吹奏楽コンクール
(全日コンクール県予選)
(金)
●大ホール ●開演時間未定
●全席自由:1,300円
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

25 第58回
福井県吹奏楽コンクール
(全日コンクール県予選)
(土)
●大ホール ●開演時間未定
●全席自由:1,300円
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

26 第58回
福井県吹奏楽コンクール
(全日コンクール県予選)
(日)
●大ホール ●開演時間未定
●全席自由:1,300円
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

31 第58回
福井県吹奏楽コンクール
(中日コンクール県予選)
(金)
●大ホール ●開演時間未定
●全席自由:1,300円
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

8月

2 令和8年度 福井県合唱コンクール
(日)
●小ホール ●13:00開演
●全席自由:700円
◎大野高校 南保 〆0779-66-3411

沙蘭音楽院 第6回発表会
サマーコンサート
●小ホール ●12:30開演 ●無料
◎西尾 〆090-7084-4530

7 2026年度 第93回
NHK全国学校音楽コンクール
福井県コンクール
(全)
●大ホール ●開演時間未定
●入場無料・観覧自由
(混雑状況により入場制限の場合あり)
◎NHK福井放送局 〆0776-28-8850

8 若い芽コンサート 2026
(土)
●小ホール ●19:00開演
●全席自由・車いす席:2,000円
(小～大学生:500円)
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

インクルーシブ事業

『だれでもピアノ® レッスンカフェ』

〈お話を聞いた方〉
新井 鷗子 氏



あらい・おーこ ●東京藝術大学客員教授。「だれでもピアノ®」の発案・提案者。東京大学先端科学技術研究センター客員教授、洗足学園音楽大学客員教授。2020年より横浜みなとみらいホール館長

指1本でメロディを弾くだけでピアノが自動で伴奏してくれる「だれでもピアノ®」のレッスンカフェがハーモニーホールふくいにて始まりました。開発を主導した東京藝術大学客員教授の新井鷗子さんに完成に至る経緯や今後の展望をお聞きしました。

障がいのある子の1本指の旋律に自動伴奏するピアノを

指1本でメロディを弾くだけで、自動でめらかな伴奏が流れる「だれでもピアノ®」を発売し、ヤマハと共に完成させた新井鷗子さん。そのきっかけは2015年、1人の障がいを持つ女子高生との出会いでした。

「インクルーシブアーツの視察で訪れた特別支援学校で、車いすの女の子が右手の人差し指1本で絞り出すようにシヨパンのノクターンを弾いていたんです。隣では伴奏を担当する音楽の教師が足を伸ばしてペダルを踏み、2人で折り重なるように演奏していました。その姿を見て、ヤマハ株式会社の自動演奏ピアノが頭に浮かびました」と振り返ります。

新井さんは当時、東京藝大COI拠点

ジョン「ダイバーシティ」といった言葉が頻りに使われるようになり、授業を履修する学生も一気に増加。そこに産学連携COI拠点の話が舞い込み、だれでもピアノ®の開発につながったのです。

インクルーシブ教育については、国によって取り組み方もさまざまです。昨年視察に訪れたドイツでは、1970年代に国家プロジェクトとしてスタートした障がいや国籍なども一切問わない学校を訪問。「教室に仕切りがなく、自由に動きまわることができる。これだとじつとして行きたい子たちの動きも目立たなくていいなと思いました」。イタリアでは、日本のように普通学級に支援が必要な子が合流するのではなく、支援学校を母体に普通学級が組み入れられていて驚いたそう。「でも個人的には日本の分離教育にもメリットがあると



2月3日に横浜市役所アトリウムで開催された、横浜みなとみらいホール主催「だれでもピアノ®レッスンカフェ2025」修了発表会の様子

点のメンバーとして、産学連携を模索していただきました。早速ヤマハの技術者を連れて支援学校へ向かい、少女の演奏を見せて追従する伴奏機能の開発を依頼しました。「技術者は、これは無理かなと半分諦めていたようです」と新井さん。ところが数日後「頑張ってみます」との連絡が入ったのです。

技術者は支援学校に何度か通い実験を繰り返しました。「私が「お披露目は12月の藝大のイベント」と決めてしまっただので、技術者は必死。何とか本番までに1号機が完成しました」。藝大とヤマハはこれで特許を申請。「技術の方は「自分が開発したものが役立つ現場を直接見ることができてうれしい」と、とても喜んでくれました。イノベーションはゼロから作るのではなく、今ある技術を異なるものとマッチングして再定義することでも生まれるのだと知りました」と話します。

音楽は人をしあわせにする力がある
だれでもピアノ®がそのきっかけに。

思っていて、視覚や聴覚など個々の障がいの特性によって分けた方がいい場合もあります。もちろん、みんなと一緒に学びたいという方もいる。私たちが開催するコンサートも質の高さにごだわりつつ、来やすく楽しい内容を用意して、あとは皆さんに自由に選んでいただければいいのかなと思っています」

高齢社会の今
ウェルビーイングの視点から

「だれでもピアノ®」の命名は開発から2年後の2017年。以降も機能を拡大し、体験者数も年々増加。リモートでの遠隔演奏も可能な、文字通り「夢のピアノ」として注目されています。そして「誰一人取り残さない未来をつくる」SDGsの理念に沿った取り組みとして、21年には「STI for SDGs アワード 科学大臣賞」を受賞しました。

現在は、高齢者の生きがいづくりの面からも関心を集めています。「ピアノを弾きたくても叶わなかった高齢の方が多いはずですが、大抵は「今さら習うのは無理」と諦めてしまいます。でも片手だけなら練習すれば何とかかなりま

東京オリンピックを契機に
認知が広がった
「インクルーシブ」

元々は音楽番組の構成などを手がけていた新井さん。障がいとアーツの研究を立ち上げた恩師の依頼で東京藝大にやってきた時、自身も障がいについて深く知っていたわけではなかったと言います。「当時は世の中も「インクルーシブ」って何?」って感じ。興味を持つ学生がいても、この授業のために楽器の練習時間が削られることに良い顔をされない先生もいて、アウェイなジャンルでした」と振り返ります。一方、支援学校の現場のカリキュラムも忙しく、外部からの新しい提案を受け入れる余裕がない状態でした。

潮目が一気に変わったのは13年。東京オリンピック・パラリンピック2020誘致の決定でした。「インクルー



5月28日にハーモニーホールふくいで行われた、「だれでもピアノ®レッスンカフェ2026」第1回の様子

す」。これまで新井さんが館長を務める「横浜みなとみらいホール」で開催したレッスン参加者の最高齢は84歳。中には、発表会でパリッと着物を着こなし、堂々と演奏を披露した方もいたそう。修了後は自主的なサークルもできて、両手演奏にも取り組んでいると言います。「楽器は練習が嫌だから続かないんです。自動伴奏のサポートがあるとちよつとだけ頑張れば曲が弾けるようになりその後の上達も早い。何より音楽が持つさまざまな効能を多くの人に感じてもらいたいですね」と新井さん。ハーモニーホールふくいでも今年始まった「だれでもピアノ®レッスンカフェ」。意欲的に取り組む参加者に向けてエールを贈ります。

だれでもピアノ®レッスンカフェ2026

ふくい文化創造センターでは、音楽でウェルビーイングを高める「だれでもピアノ®レッスンカフェ」を開催しています。65歳以上で譜面が読めない初心者の方などの参加条件を満たした12人が、新井鷗子さんやピアニストの竹沢友里さん(越のルビーアーティスト)の指導のもと、5月下旬から6回のレッスンに取り組んでいます。修了後は発表会で成果を披露します。

【成果発表会】
2026年7月9日(木) 13:00開演(予定) ハーモニーホールふくい 大ホール 入場無料(事前申し込み不要)

主催：福井県、(公財)福井県文化振興事業団 協力：東京藝術大学、ヤマハ株式会社
監修：新井鷗子、横浜みなとみらいホール((公財)横浜市芸術文化振興財団)
共催：東海国立大学機構 名古屋大学大学院医学系研究科附属 健康医療ライフデザイン統合研究教育センター(C-REX)



〈講師〉竹沢友里氏
ピアニスト・越のルビーアーティスト

COI拠点 ※2

文部科学省と科学技術振興機構が2013年～2021年度に実施した「革新的イノベーション創出プログラム(COISTREAM)」の拠点。10年後の社会を見通した革新的な研究開発課題を特定し、基礎研究段階から実用化を目指した産学連携による研究開発を行う。東京藝術大学COI拠点は15年度に採択され、芸術と科学技術の融合、教育・医療・福祉産業との連携により新たなコンテンツを開発・発信した。

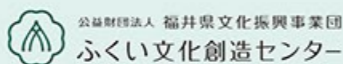
だれでもピアノ® ※1

東京藝術大学COI拠点が2015年にヤマハ株式会社と共同開発。右手でメロディを弾くと伴奏とペダルが自動で追従して、ピアニストが弾くような演奏が実現できる。機能も年々拡大し、「だれでもピアノ」の無料アプリも公開中。障がい者の演奏補助や高齢者のウェルビーイングなどに貢献するとして、2021年にSTI for SDGsアワード 科学大臣賞受賞。本年度ハーモニーホールふくいにアップライト型を導入。



無料アプリ「だれでもピアノ」はこちらから

問い合わせ・相談はコチラへ



TEL.0776-38-8280
(9:00～12:00/13:00～17:00 休館日を除く)

キーパーソン

小さな記録研究所

代表 丸山達也さん



まるやま・たつや ●映像制作者。福井県福井市を拠点に、記憶や記録を蒐集・再編集する「そばに映像舎」と「あわい読書室」を夫婦で営む傍ら、福井県内の私的な記録を収集・保存する「小さな記録研究所」を主宰。美術・音楽のアーティストとのアート作品の共同制作も積極的に行っている

個人の思い出を、地域社会の宝物へ
「小さな記録」を未来へ包みなおす。

福井市の住宅街にある「あわい読書室」は、丸山達也さんが「住み開き」という概念を参考に開設。映像事務所でありながら、だれもがふらりと立ち寄れる公共性を併せ持つこの場所、県内に眠るホームムービーや日記などの断片を収集する「小さな記録研究所」を運営しています。

丸山さんは以前に石川県加賀市で図書館と共同で地域資料のアーカイブに携わっていました。その経験から地域資料の大切さを感じ、福井で収集活動を始めたと言います。昨年は8ミリフィルムなど650点もの記録が集まるほどに。一乗谷地域で40年間記録係を務めた男性から託されたビデオには、社屋の屋根のペンキ塗りや、畳敷きのバスで海へ向かう子供たちなど地域の日常が映っていました。これらを上映する会を催したところ、会話を弾ませながら参加者同士が思い出を語り

合う場となりました。

「他人の記録であっても、それを見ることで自分の育った記憶や、失ったものと繋がる瞬間がある。それは自身との出会い直しになる。提供者も皆が面白がる姿を見て、過去に撮ったものの価値を再発見するんです」

現在は、社南公民館との8ミリフィルム上映会や、共に学び合う研究員の募集を予定。今年度は自身の育児体験から着想した「産声のアーカイブ」も本格化させ、妻と共同でこのプロジェクトに挑みます。

「自分の大切なものを、他者が喜んで見てくれる。それだけで、人ほど何か勇気づけられるのではないかと丸山さん。「活動をしていなければ出会えなかったはずの人や、その人生に触れられることが楽しい」と言い、地域社会の確かな宝物として残していきたいと語ります。



「思い出と出会いなおす・思い出を包みなおす」をキーワードに、福井で子どもが誕生した時の記録を、記録提供者の語りと共に再記録化する「産声のアーカイブ」を開始する



ホームムービーなど小さな記録を通じて、さまざまな人の思い出や、まなざしが交差する時間を定期的に作るプロジェクト「小さな記録」を持ち寄って、の様子

【小さな記録研究所】福井県内のホームムービーや日記など「小さな記録」を収集・保存・活用するプロジェクト。定期的な上映会や対話型活動を行っている。2025年4月設立

■活動内容はこちらから
http://sou-ba.jp/?page_id=116
そばに映像舎
<http://sou-ba.jp/>

※アートプロジェクト支援事業助成金の採択事業と活動者をご紹介します

アートの息吹

株式会社 廣部硬器 (福井市)

建物に取り付ける警察紋章などのシンボルマークや看板文字を「焼き物」で製作する廣部硬器では、色見本タイルやB級品を活用したアート系ワークシヨップを開催しています。
メニューは鍋敷きやコースター、リースづくりなどさまざま。人気は、好きな形のタイルを10枚選んで黒板に貼り、余白にチョークで絵や文字を描いて完成させる「タイルde脳トレ」です。これは担当する磯部えりさんが考案しました。「タイルの形を観察し、

創造力を発揮して作りたいものを決めたり、タイルとチョークを使い分けたりして、頭を使いながら、満足のいく作品を作ってもらいたい。子どもたちは悩みながらも、楽しそうに取り組んでいるそう。

同社はオフィス家具の会社と協力して、福井の名石・笏谷石のアップサイクルにも取り組んでいます。ワークシヨップと座学を組み合わせて笏谷石を実際に手に取りながら、ふるさとを学ぶ機会を作っています。「あれこれ考えて作る楽しさを味わいながら、やきものの温かみや、郷土の自然素材の魅力を感じてもらえたら嬉しいですね」と磯部さん。子どもの自由な発想に驚かされるという彼女自身、廃材の笏谷石を加工して表札やアクセサリーなどを生み出すクリエイターです。「ワークシヨップがアートの創造力をかきたてる場になれば」とほほ笑みます。

株式会社 廣部硬器

セラミックス造形で、警察や消防署の紋章、校章や看板文字等を製作。純金を使用した焼付など特殊な加工と屋外でも劣化しない耐候性の高さで知られ、警察紋章は国内シェア1位を誇る。1956年創業
福井市深谷町5-15
TEL.0776-59-1422

◎ hirobekouki1422

※「アートの息吹」は県内企業のアートを通じた社会貢献活動をご紹介します

アートプロジェクト インフォメーション

越前和紙と生け花「共鳴」～表現の可能性を求めて～

6/14(日)～7/12(日) 9:30～16:30 (火曜日休館)

日本の伝統的な越前和紙と生け花が触れ合う時、新しい何かがあるかもしれない可能性を秘めた展示会です。

<出品者>上木白秀、上木無双、長田和也、キンモトウジ、小林桐美

杉本 博、田中秀勝、島中一秀、増田頼保、宮森昭宏

- 越前和紙の里 卯立の工芸館(越前市新在家町9-21-2)
- 大人300円 高校生以下無料 ◎Imadate Art Field

ZERO8と歌う 未来へつなぐハーモニー出演者募集!

8/27(木)

世界を誇るスウェーデンの男声合唱団、ZERO8(ゼロエイト)が福井にやってきました。ZERO8と一緒に歌いたい福井県内の小・中・高・大学生、大募集! 松下耕作曲「今、ここに」を同じステージで歌える、またとないチャンスです!

- ハーモニーホールふくい 大ホール ●2,000円 ●定員80名
- ◎福井コダーイ勉強会がウディア ☒gaudia0811@gmail.com

アートプロジェクト支援事業助成金は、地域文化の発信や新たな地域文化の創造、地域課題の解決に寄与することを目的に、県内各地で文化芸術を活用した地域活性化に取り組む事業を支援しています。

(公財)福井県文化振興事業団のホームページでは助成事業の一覧をご覧いただけます。



ホームムービーの日 今年の1本上映会 in 福井

6/27(土) 14:00～18:00

全国で開催されるホームムービーの祭典「ホームムービーの日」。全国8会場で上映された8ミリフィルムを持ち寄り、今年の一本を決める上映会を開催します。福井で撮られた映像も上映。出入りは自由なので、お好きなタイミングにお越しください。

- あわい読書室(福井市江守の里2-1920) ●無料 ●定員20名
- ◎小さな記録研究所 ☎090-2925-6472 <http://sou-ba.jp/hmd/>

子どもたちに えんげきあそびをお届けします

通年

学校や公民館、児童クラブや地域の子ども会など、子どもたちの活動場所に演劇講師を派遣します。楽しみながら表現力やチーム力を育む「えんげきあそび」をみなさんの現場にも取り入れてみませんか?

- 講師派遣 ●1コマ45分/5,000円+交通費
- ◎認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター ☎0776-97-8460 ☒childnpo@muse.ocn.ne.jp

毎月第3金曜日開催! アート茶会

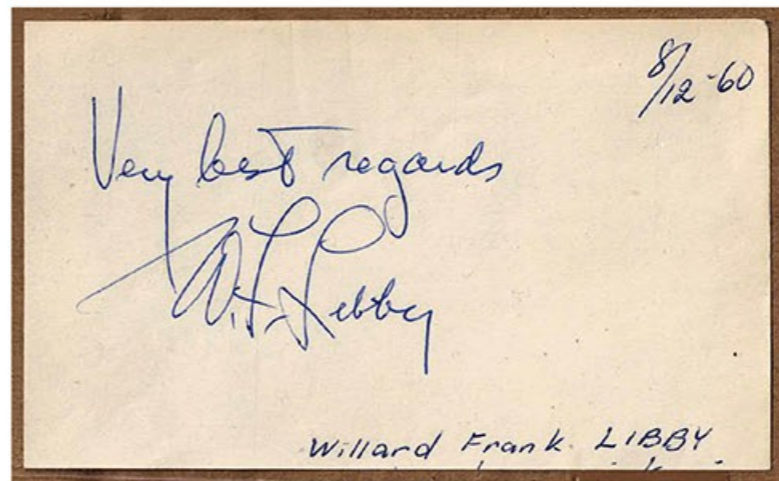
第18回 6/19(金) 18:30～20:30

「アート茶会」は、アートにちょっと興味がある方やアーティストの方などがゆるやかに集い、語り合う場です。今回は、WAKUの小針 翼さんとばななさんが登場! 演劇を通して、新たな自分を発見できるかも! 入退場は自由なので、ぜひお気軽にご参加ください!

- PLAYCE(福井市中央一丁目3-5 FUKUMACHI BLOCK 1階) ●無料
- ◎ふくい文化創造センター ※詳細はHPやSNSでお知らせします。

スーパースターの直筆サイン 年縞研究の礎石・リビー博士

一流のアスリートは、多くの人々からサインを求められる憧れの存在だ。同じように、年縞研究の界限にもスーパースターがいる。その1人が、アメリカの化学者W. F. リビー博士である。



アメリカの化学者W. F. リビーの直筆サイン(個人蔵)

リビーは、過去の年代を調べる手法「放射性炭素年代測定法」の開発者である。質量数14の炭素(放射性炭素)が時間の経過とともに一定速度で減少する性質を、年代測定に利用する手法である。リビーが開発したこの年代測定法は、私たちが過去5万年の年代を調べる際のもっとも一般的な手法として、現在でも地質学や考古学に欠かせないものとなっている。この業績により、リビーは1960年にノーベル化学賞を受賞した。

リビーと年縞の関係は深い。福井県若狭町の水月湖には、年縞と呼ばれる地層が7万年分堆積している。年縞とは、湖底に1年に1層つくられる薄い地層で、年代を正確に特定できるのが特徴である。とくに水月湖の年縞から得られた年代データは国際的に高い評価を得ており、放射性炭素年代を補正するための世界標準(Int.Cal)に採用されている。水月湖の「世界標準」という地位は、リビーの偉業を前提に成り立っているわけだ。

筆者は最近、リビーの直筆サインを

福井県年縞博物館学芸員 長屋憲慶

手に入れた。ヨコ108mm・タテ66mmの厚紙に青いインクで「Very best regards (心を込めて) W. Libby」と、流れるような筆記体が記されている。紙面に遺された筆致を丹念にたどってみると、偉大な先人の在りし日の姿を垣間見ることが出来る。注目は、署名の日付だ。右上に、1960年12月8日とある。

ノーベル賞の授賞式がスウェーデンのストックホルムでおこなわれたのが、この2日後の12月10日である。つまりこのサインは、リビーの人生で最も華やかかつ多忙な時期に書かれたものということになる。

記録によると、リビーは同年12月7日から8日にかけてアメリカから家族を伴って現地入りした。8日には翌日の記者会見に向けた打合わせを、ノーベル財団やスウェーデン王立科学アカデミー関係者らとおこなった。署名の日付が8日ということは、このサインは授賞式本番に向けた打ち合わせのさなかに関係者が入手したのもかもしれない。

紙の下側にはブロック体で「Willard



ながや・かずよし ●1983年岐阜県笠松町生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。専門は考古学。早稲田大学助手、金沢大学特任助教を経て18年より現職。現在は水月湖および北中米(メキシコ・グアテマラ)での年縞調査と、それをテーマにした展示企画に携わる

Frank LIBBY」と記されている。AIで画像解析(筆跡鑑定)した結果、これもリビー本人の筆跡のようだ。文字全体が右側に約15〜20度傾く、b・Bの下部の膨らみを強調する、しつこく書き出しでいったくセが、筆記体とブロック体に共通している。

1960年当時、著名人のサインにおいて署名とブロック体を併記することはよくあったようだ。しかし、「ファン」としては、この添えられたブロック体をとおして、研究者リビーの人となりまで想像をめぐらせてしまう。リビーは化学者であり、実験ノートを正確に記録する習慣があったはずだ。署名(アイデンティティの証明)とブロック体(情報の明確化)をセットにするのは、研究者としての誠実さの表れと言っても良いのではないだろうか。

この直筆サインは、栄冠を目前にしたリビー博士の胸中に想いを馳せる、無上のよすがとなってくれる。憧れゆえの推察は尽きない。

滑稽な台詞と所作で和ませ寿ぐ。

「ハハアなんと貴公殿、我がもの結構とはおかしいな、ハッハッハッ」。天狗と春日大明神が酒を酌み交わし、笑い合い酔い潰れる姿に、見る人からも笑いがもれます。4月20日の篠座神社例大祭の夜に奉納される里神楽は大野市内4カ所所奉納される里神楽の原型で、800年以上の歴史があるといわれます。50年ほど前、後継者不足により途絶したものの、氏子有志が故郷の伝統を守ろうと1995年の亥年大祭を機に復活させ、「篠座神社獅子舞保存会」(松山善四郎会長)を結成。以来、氏子衆の手で守り継がれ、地域が誇る伝統芸能としてイベント等でも披露されています。

神楽の冒頭は天狗が獅子の鼻先で簾を打ち鳴らし、だまを取るような舞からスタート。そこに春日大明神夫妻が通りかかり、酒を持っているから一緒に飲もうと天狗を誘います。互いに酌を

して酔い潰れては起き上がりを繰り返す、そのうち獅子も加わって初めて名を尋ねます。「ウーン、ホー」と答える獅子の言葉を天狗らが代弁し、滑稽な聞き間違いを笑い合います。さらに全員で「獅子三番叟」を舞い遊ぼうという話になり、上機嫌で舞った後に「乱獅子舞」へと続きます。最後は天狗が舞台の四方を清める「天下平宝」の所作で締め括り。こうした滑稽な所作と台詞で物語を繰り広げる里神楽は、全国でも非常に珍しいといわれます。

笑いで和みの場を生み出すのは、天岩戸神話の天鈿女命の舞や「笑う門には福来たり」の諺にも通じます。民が笑い喜び、神には和んでもらうことで寿ぎ、五穀豊穡を祈願する。篠座神社の里神楽からは、日本のおおらかな祈りの原風景を見ることが出来ます。

※彫(ささ)竹などを束ねたもの
※だまを取る…猫などを遊ばせる



篠座神社 里神楽 (大野市)



- 1 「トットト」と瓢箪から酒を注ぐ
- 2 酔い潰れる天狗と春日大明神
- 3 獅子とともに舞う「獅子三番叟」
- 4 里神楽の前に奉納される小中学生による豊栄舞



■篠座神社
創建1300年以上を誇る泰澄大師ゆかりの神社。眼病に靈験あらたかと伝わる霊泉でも知られる。春分と秋分の日には社殿と参道と飯降山山頂に沈む太陽が一直線上になり、ダイヤモンドのように輝く
大野市篠座42-5 TEL.0779-65-1455



- Information
- ・例大祭 / 毎年4月20日、21日
- ・里神楽 / 4月20日 19:30~

第37回 ハーモニー プンカさろん～イタリア・バロック芸術の世界～

劇的な光と影の表現でヨーロッパ全土に影響を与えた、17世紀の天才画家カラヴァッジョを入口に、元福井県立美術館館長・芹川貞夫氏がバロック芸術の誕生から隆盛をわかりやすくひもときます。越のルビーアーティスト2人が奏でる同時代の名曲とともに、目と耳で「イタリア・バロック芸術の世界」をお楽しみください。

開催日時/7月14日(火) 13:00開場 13:30開演/小ホール

料 金/全席自由・車いす席 ¥2,500(スイーツ・コーヒー付き:限定100枚) ※各種割引なし **発売中**

出演者/芹川貞夫(お話)、久津見れい(ソプラノ)、竹沢友里(ピアノ)



久津見れい 竹沢友里

キンボー・イシイ指揮 NHK交響楽団演奏会 福井公演 ヴァイオリン・クロエ・チュア 主催: NHK福井放送局 NHK交響楽団

2024年、満員の客席を魅了した実力派指揮者キンボー・イシイ&NHK交響楽団が、楽団創立100周年という輝かしい節目に再び福井へ。今回は、シンガポールの天才ヴァイオリニスト、クロエ・チュアをソリストに迎え、聴き応えたっぷりのプログラムをお贈りします。

開催日時/8月29日(土) 15:45開場 16:30開演/大ホール

料 金/S席 ¥7,000、A席 ¥6,000、B席 ¥5,000、C席 ¥3,500 **発売中**

※各種割引なし ※ユースチケットは「WEBチケットN響」のみの取り扱い

出演者/キンボー・イシイ(指揮)、NHK交響楽団(管弦楽)、クロエ・チュア(ヴァイオリン)



NHK交響楽団 キンボー・イシイ

半崎美子 コンサートツアー2026 ～地球へ～ 主催: MIN-ON

シンガーソングライター半崎美子による福井公演。歌声に乗せ、客席の一人ひとりに彼女の優しくも力強いメッセージが響きわたります。近年は校歌制作も担当し、2024年「地球へ」教科書掲載を皮切りに特別授業ツアーで全国の小学校を巡っている半崎。今を輝く歌声に耳を澄まし、癒しのひとときを過ごしませんか。

開催日時/11月1日(日) 14:15開場 15:00開演/大ホール

料 金/全席指定・車いす席 ¥6,000(小～大学生:半額)

出演者/半崎美子(シンガーソングライター)



半崎美子

大人のくつろぎ音楽堂フェス「JAZZ井2026」 主催: 福井新聞社

福井発のホール型本格ジャズ・フェスティバル。越前市出身のピアニスト・坪口昌恭を音楽監督に、夏木マリやTOKU、バンクシア・トリオら実力派ミュージシャンが集結します。ジャンルを横断して熱いセッションが繰り広げられる、大人のための贅沢なひとときをどうぞお過ごしください。

開催日時/11月21日(土) 大ホール 料 金/未定

出演者/夏木マリ(夏木マリ(ヴォーカル)、山内剛一朗(ドラムス)、川崎哲平(ベース)、養父 貴(ギター)

柴田敏孝(ピアノ/キーボード)、斉藤ノブ(パーカッション)

TOKU / MILES DAVIS Tribute Session
Banksia Trio

※詳細は福井新聞「JAZZ井」公式HPで随時発表



夏木マリ

11/1(日)、21(土) チケット発売日(電話・窓口・インターネット) 会員先行 特別協賛: 8/25(火) 友の会: 8/26(水) 一般 8/29(土) ※各日10:00～

編集後記

人生100年時代と言われるようになって久しい現代。福井県は65歳以上の就業率が全国トップレベル(令和6年県高齢者福祉計画)となっており、各所で「健康長寿」を目指した取り組みが見られます。当館での演奏会や県内各地でのアートプロジェクト参加等でも、その中心世代と言えます。誌面紹介の「だれでもピアノ」レッスンカフェには65歳から85歳までの12人が参加。「孫と一緒に弾きたい」「(人生)最後に初めてのこと挑戦したかった」など世代ならではの理由も披露されました。レッスンの順番待ちの間、一歩ずつピアノに近づいたり、音楽を聞いて自然と歌いだしたりと、ウエルビーイングが満ち溢れています。「六十の手習い」も人生100年時代仕様にアップデートしたくなるような勢いです。

【ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名】 ※50音順

公演協賛社(2026.4-2027.3)

URALA communications	関西電力 power with heart
公団財団法人 げん でん ふれあい 福井財団	Kanets 興和江守株式会社
NICCA	FM FUKUI
福井銀行	FBSV SCTV
福井新聞社	福井信用金庫
福井テレビ	FBC
FUKUVI	株式会社 増田 豊
ますも証券	

法人協賛社

JAKUETS	株式会社 新内	福井県民協	福井銀行	福井県 JA/バンク
福井信用金庫	福井フェニックススプリ	FUKUVI	北陸銀行	三谷商事株式会社

Essay

二十四年を経て、ふたたび始まりの場所へ
— 福井県立大学地域政策学部始動 —

文 朝倉由希



あさくら ゆき ● 福井市生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。文化庁地域文化創生本部研究官、公立小松大学国際文化交流学部准教授を経て、2026年4月から福井県立大学地域政策学部地域イノベーション学科教授。福井県芸術文化アドバイザー

今年四月、福井県立大学に地域政策学部が新設され、私は教員のひとりとして着任した。学部の立ち上げ期に飛び込んだ。やる気と希望に満ちた約七十名の一期生を前に、期待を抱くと同時に、身の引き締まる思いでいる。

今から二十四年前、私自身も新しい学科に入学した経験がある。人生を生き直す覚悟で勤めていた会社を退職し、東京藝術大学に新設された音楽環境創造科を受験して、一期生として入学した。それからアート・マネジメント、文化政策を学び、研究を続けてきた私が、約四半世紀を経て、今度は地元福井で新しい学部の出発に関わることになった。その巡り合わせに、まるで導かれたかのような思いがしている。

奇しくも、今年三月、県立大に着任する一週間ほど前のこと、東京藝術大学音楽環境創造科の立ち上げ当初の恩師である熊倉純子氏が退官されるにあたり、東京で記念イベント



福井県立大学地域政策学部の記念すべき一期生74名と教員

が開かれた。そこで、当時の一期生たちと久しぶりに再会した。一期生は、その学科にとって一度きりの特別な存在である。共に学んだ仲間とは、道なき道を切り開いた同志として、とりわけ絆が深い。当時、地域に出て実践するプロジェクト型の授業があり、手探りで地域の人々との関係を築いていった。その過程で苦勞しながら鍛えられた日々を、同期のみならず口々に懐かしみながら語り合った。

これから県立大の地域政策学部でも、地域でのフィールドワークを重ね、実践的な学びを展開していく。福井にある多様な豊かな地域資源を掘り起こし、新たな価値として発信する人材の育成が、新学部には求められている。地域産業、地域創造、地域づくりの三ユニットを柱に、様々な地域課題に対して解決策を提示できる主体的な人材を育てていく。

マネジメントの分野は、地域課題に対して直接的な解決ができるものではないと見る向きもあるかもしれない。しかしそれは誤解であり、文化芸術が持つ多様な力や、創造性がある。文化芸術は、人々に喜びをもたらすだけでなく、交流を促し、つながりを生み出し、そこで生きる人々のアイデンティティともなる。個人の楽しみを越えた、公共的な意義を持つ文化芸術の力を地域政策に生かしていくことが、福井の未来を創ることにつながる。

この春、これまでの巡り合わせを経て、地元福井で文化芸術を通じた豊かな地域づくりをいかに実現していくのかという問いが、あらためて自分に差し出されているように感じる。文化芸術を、地域で人々が真に豊かに生き続けるための力として生かす道を、これから福井の学生たちとともに探っていく。